

ITで教育が変わる

ITとICTの違い

IT...コンピュータ関連の技術そのもの

→パソコンなどを使うこと

ICT...情報を伝達することを重視、活用方法

→ITの技術を使って教えること

教育におけるIT技術にはどのような目的とメリットがあるか

小～高校

目的...IT人材不足の対策・情報化の進展に対応できるようにする・情報の意義や役割を理解

メリット...教員の業務の効率化・子どものITリテラシー、情報リテラシーが高まる

どのような取り組みがあるのか

〈教員〉

テストの採点や出欠席の管理→ミスを防止

教材の共有→資源やコストの削減・ペーパーレス

オンライン授業→休校になった場合や学校に来られない子にも対応可能

〈生徒〉

タブレット学習→学習管理がしやすい・自動採点
機能

プログラミング学習→パソコンを使う技術が身につく・物事を解決する力がつく

2020年から始まっている！

大学

小学校は文部科学省の指示による改革
大学は大学独自の改革

目的...教育の効果をあげる・他大学との差別化

メリット...宣伝・授業の充実・連絡サービス

課題

1. 学校ごとに差がある

ITの活用方法は各学校にゆだねられている

文部科学省が定める項目の9割を満たしているところと半分も満たしていないところがある

2. 教員の負担

IT技術を使うための準備に時間がかかる

研修会などを通して必要な知識を勉強して理解を深めるには多くの時間と労力をかけなければいけない



必要になる経費が
大きすぎる

改善方法

企業から学校へのサポート

学校や教育委員会だけでは難しい



企業と連携して環境を整えたりアドバイザーを派遣する

まとめ

ITによって教育の場は大きく変わることができる
しかしそのためには多くの課題が残る

それを解決するには企業など教育機関以外にも協力して課題解決をし、教員も生徒もよりよい学習が行えるようにしていく必要がある